

マデイラでのポルトガル スケッチ ツアー

について



マデイラでのポルトガル スケッチ ツアー

マデイラでのスケッチツアーはこの島を訪れる人にとって欠かせない三つのテーマ**世界遺産、自然、そして料理**にそって作られています。これらのテーマはデンマークから来た**イア・エースボ**、ポルトガル人の**ケッタ・リンハス**の二人のアーバンスケッチャーズのスケッチに映し出されています。

マデイラ諸島の景色はほとんどを海の青と自然の緑が占めています。この色が、スケッチャーズがマデイラと**ポルト・サント** [Porto Santo] を探索するインスピレーションとなりました。一年中ほとんど変わらない温暖な気候が、地形上微気候を生じさせるこの島での旅を助けてくれました。沿岸の町や村と山々の山頂との間、そして湿度の高い北側とより天候がよい南側との間で細かな気象の差があります。

スケッチツアーは**フンシャル** [Funchal] から始まりました。街の中心を歩いて世界遺産と地元の歴史に初めて触れ、そのまま海の近く、マリーナへと進みました。二人は最初に**ラヴラドーレス市場**(農家の市場)[Mercado dos Lavradores] でこの島の最初の料理を味わいました。この島で最高の農産物の色や香りに初めて触れた場所です。中でも南国の果物や多彩な鮮魚が特に印象的で、かの有名なマデイラワインを本場で賞味する機会でもありました。

フンシャル



© Ea Ejersbo

ラヴラドーレス市場 / 農家の市場



© Ketta Linhares

サントナは[Santana]人類の世界遺産(自然遺産)であるラウ

リシルヴァの森[Laurissilva]

に初めて遭遇した場所です。ここは島の観光スポットの一つであり、田舎の環境や独特の形状、かやぶき屋根を特徴とした家々を今もそのまま残しています。その後ピコ・ド・アリエイロ[Pico do Areeiro]に上り島の最も高い場所からの眺めを堪能しました。降りる途中でリベイロ・フリオ[Ribeiro Frio]に立ち寄りしました。ここは水路(レヴァダ)[levada]に沿って進む短いコースの出発点です。今回で言えばバルコインス・トレイル[Balcões]ですが、マデイラに来たら是非訪れたいスポットです。

ピコ・ド・アリエイロ



© Ea Ejersbo

バルコインスのレヴァダ(バルコインス水路)



© Ketta Linhares

フンシャルに戻ると、**モンテ**[Monte]をケーブルカーで上りました。そうすると山の中腹を降りるときにラタン(籐)の籠製の車両で速いスピードで降りることができるからです。とても刺激的な時間でした。

ケーブルカー



© Ea Ejersbo

モンテ

Carreiros do Monte

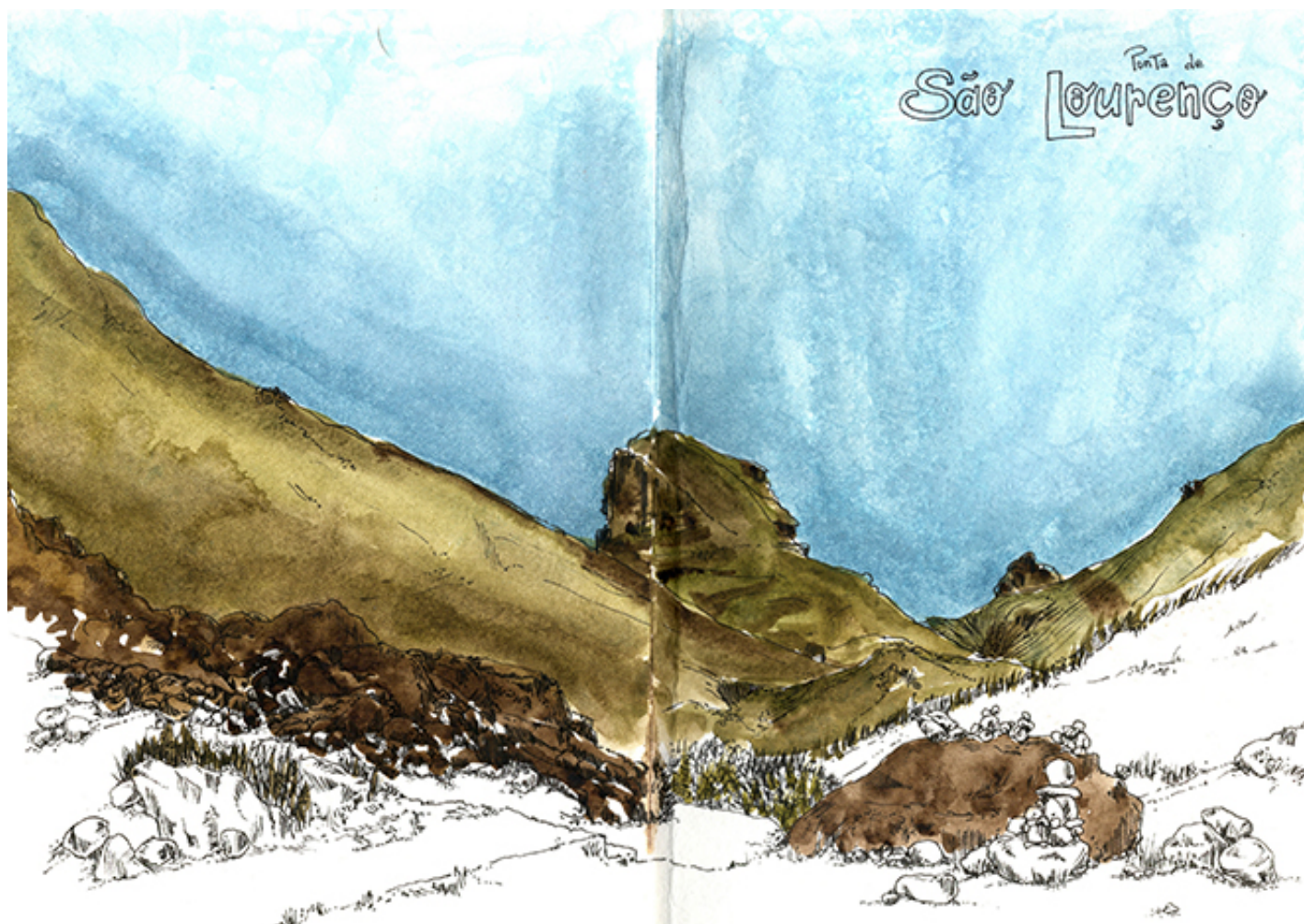


© Ketta Linhares

この旅を終える前に、まだ**ポント・ド・サン・ロウレン** [Ponta de São Lourenço]、**カマラ・デ・ロボス** [Câmara de Lobos] に近い**ジラオン岬** [Cabo Girão]

や北岸にある自然のプールを訪れる時間がまだ残されていました。島では常に海が見え、景色に誘われてつい泳ぎたくなってしまいます。**ポルト・モニース** [Porto Moniz] のプールは、素晴らしい一日を過ごすことができるビーチの一つです。

ポント・ド・サン・ロウレンソ



© Ketta Linhares

ジラオン岬



© Ea Ejersbo

カマラ・デ・ロボス

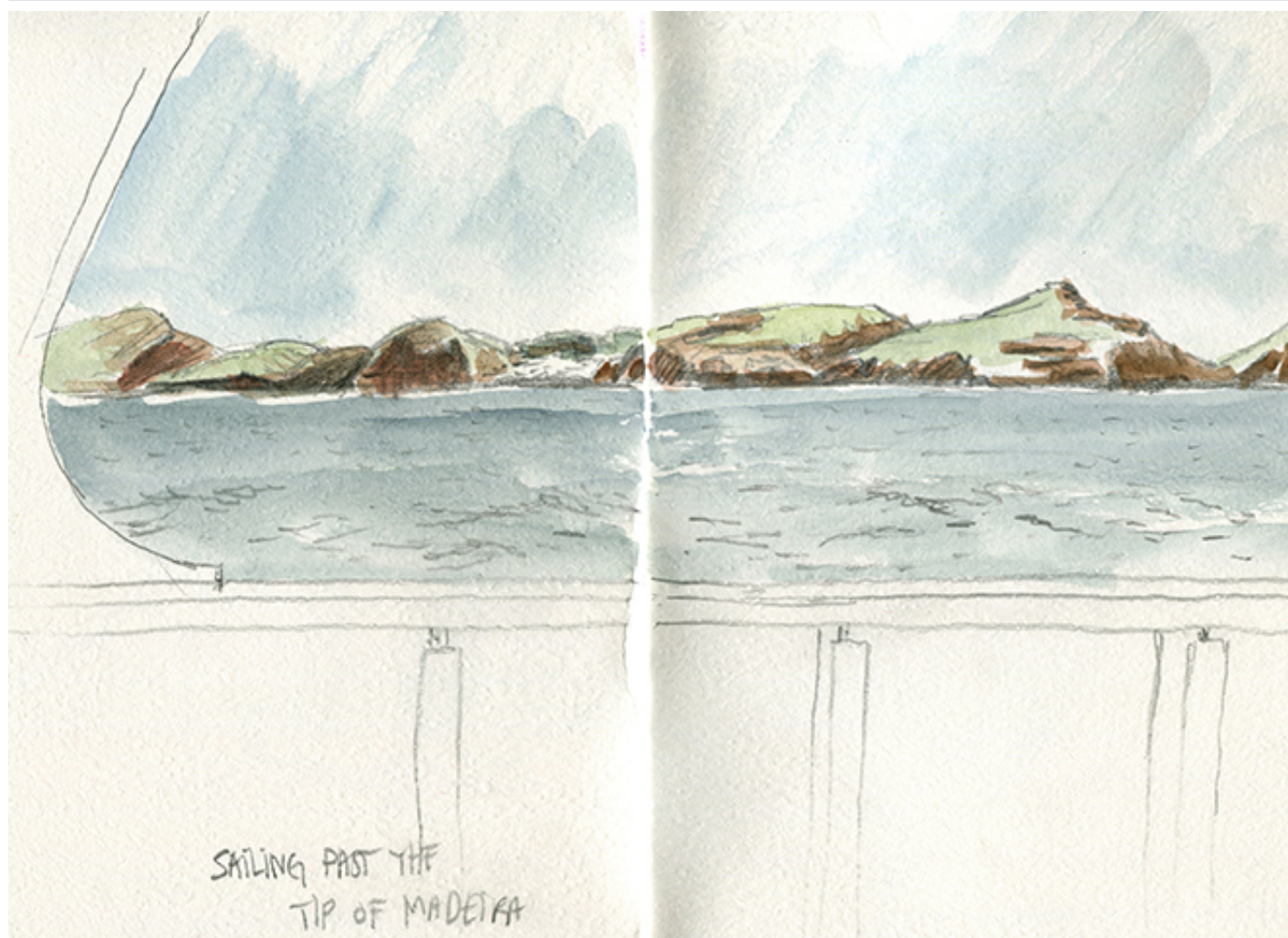


© Ketta Linhares

この旅程には**ポルト・サント島**

への短いボート旅が組み込まれており、家族の休日や休息の地としてとても人気です。癒される黄金の砂のビーチが数キロも続き、心地よい水温の海が広がり、夏休みにまた戻ってきたくなることでしょう。

マデイラのボート旅 - ポルト・サント



© Ea Ejersbo

ポルト・サント



© Ketta Linhares

ポント・ダ・カリェタ



© Ea Ejersbo

博物館 [Casa Museu Colombo]

